

MUSEUM TALK 2026

参加
無料

特集

家族にまで及んだ差別被害

家族の証言から、
ハンセン病問題を
考える。

ハンセン病問題では、患者・元患者だけでなく、
その家族も偏見や差別による深刻な影響を受けてきました。
本後援会では、ハンセン病回復者家族と家族訴訟に関わった弁護士を
講師に迎え、家族被害の実態や思いについて語っていただきます。
この機会にハンセン病問題と人権について一緒に考えてみませんか。

第1回

2026年

8月8日 土

登壇者 原告番号 21 番さん、原告番号 75 番さん、
田村 有規奈 氏（弁護士）

第2回

2026年

8月29日 土

登壇者 原告番号 474 番さん、O・Mさん、
大槻 倫子 氏（弁護士）



時間

13:30～15:30

（開場 13:00）



会場

国立ハンセン病資料館
映像ホール



定員

各回先着 100 名

（事前申し込み制）

定員に達し次第、受付を締め切ります。
定員に満たなかった場合は、当日 12:00 から
整理券による当日受付を行います。

イベント詳細・申し込み方法はこちら

イベント内容をご確認の上、参加を希望される回ごとにお申し込みください。

手話通訳をご希望の方は、各回の申込締切日までに
お申し込みください。

イベントページURL

<https://www.nhdm.jp/events/list/10592/>

※本イベントのアーカイブ配信はございません



お問い合わせ

国立ハンセン病資料館 事業部 社会啓発課
〒189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13
TEL：042-396-2909（代表） FAX：042-396-2981